とっておきの新居浜検定
問　題　用　紙

（１３時３０分開始　　制限時間６０分）

第１７回　中級

注　意　事　項

１．解答用紙の記入にあたっては、ＨＢ又はＢの黒鉛筆、シャープペンシルを使用する。
２．解答はすべて答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。
３．【　　】にあてはまる語句を答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

令和８年１１月８日(日)

新 居 浜 商 工 会 議 所

新居浜検定事業運営協議会

（問題１）
市制施行３０周年を記念して、市花と市樹が選ばれました。市民総ぐるみで、花いっぱい、緑いっぱい運動をすすめる心をこめて選定されたその花と樹は何でしょう。

（問題２）
新居浜市の中心部を流れる国領川にはいくつもの橋がかかっています。国道１１号線の国領大橋より北には、海側から順に新高橋・敷島橋・平形橋・【　問題２　】・国領川橋の５橋がかかっています。

（問題３）
飛鳥時代の創建と考えられ、七堂伽藍を具備していた大寺院と推定される東予地方屈指の古刹の名前は何でしょう。

（問題４）
別子ラインの名前の由来となったライン川がある国はどこでしょう。

（問題５）
新居浜市の西部を流れる渦井川の上流にある市指定名勝で、落差約３０メートルの滝の名前を書いてください。

（問題６・７）
太鼓台の天幕は【　問題６　】を表し、紅白の色は【　問題７　】の輝きを表すものとされています。

（問題８）
都はるみが歌う「太鼓台の謡」として新居浜太鼓祭りには欠かせない曲の題名は何でしょう。

（問題９）
川西地区で五穀豊穣と大漁祈願を分けて隔年交代で行い、海神に詣でる年に行われるのが【　問題９　】である。

（問題１０）
太鼓台派遣事業は、昭和４５年（１９７０年）に開催された【　問題１０　】のお祭り広場に出場したのが始まりです。

（問題１１）
端出場水力発電所が発電所としての役割を終えたのはいつでしょう。

（問題１２）
広瀬宰平の古希祝いとして住友家の依頼により制作された広瀬宰平像を手掛けた、東京美術学校彫刻科初代教授の彫刻家は誰でしょう。
その際に制作した木型を基に、平成１５年には現在の広瀬歴史記念館入り口にある広瀬宰平像が復元されました。

（問題１３）
住友家２代目総理事である伊庭貞剛の大造林計画の発祥地である「別子山中七番」に、平成５年（１９９３年）１１月にオープンした施設の名前は何というでしょう。

（問題１４）
第四通洞の通洞口にある「第四通洞」の題字は、住友家１５代家長である住友【　問題１４　】によるものです。

（問題１５）
山根製錬所の煙突から出て、付近の農作物に悪影響を与えた気体の名称を書いてください。

（問題１６）
別子山中から新居浜口屋への物資運搬の中継地点はどこでしょう。

（問題１７）
明治７年（１８７４年）、広瀬宰平が別子銅山の近代化を推進するためにフランスから雇い入れた技師の名前を書いてください。

（問題１８）
問題１７のフランス人鉱山技師がまとめた報告書の名称を答えてください。

（問題１９）
明治２２年に建設された、小足谷の小学校の正式名称は何というでしょう。

（問題２０・２１）
上部鉄道は、日本最初の山岳鉱山鉄道として、明治２６年（１８９３年）に【　問題２０　】から【　問題２１　】の間５，５３２ｍが開通しました。

（問題２２）
開坑以来２７０年を経た別子銅山では、鉱脈が下部に移行してきたため、海面下約１，０００ｍに及ぶ坑内運搬路として【　問題２２　】が開削され、鉱石や人、機材の運搬に大活躍しました。

（問題２３）
山根グラウンドは鷲尾勘解治の指揮のもと、住友各企業の社員による【　問題２３　】によって建設が行われました。

（問題２４）
別子銅山の山中で明治２２年（１８８９年）に建設された【　問題２４　】では山神祭が行われる５月には京都や大阪から役者を呼んで歌舞伎や芝居が上演され、銅山で働く人たちに安らぎを与えていました。

（問題２５）
東平接待館は、東平坑閉坑までの６１年間利用されました。接待館には川田順（歌人）や山口誓子（俳人）のほか、【　問題２５　】（詩人）といった各界の著名人が訪れました。

（問題２６）
【　問題２６　】は、昭和１２年（１９３７年)、別子銅山開坑２５０年記念の来賓を迎えるため、純和風の接待館が現在の北新町に建てられました。その後、開坑 300 年を目前にした平成３年（１９９１年)、その敷地に図書館を建設するため、一部がマイントピア別子に移築されました。



（問題２７・２８）
多喜浜塩田の製塩法には、潮の干満差を利用した【　問題 27　】塩田と、流下盤と枝条架を合わせた【　問題２８　】塩田の２種類がありました。

（問題２９）
塩田に関わりのある藤田家では、ある武道を得意としていました。その武道は何でしょう。

（問題３０）
塩田で使用される道具で、塩を入れる袋のことを何というでしょう。

（問題３１）
多喜浜塩田において、塩を溶かした後の砂を地場に広げる作業を何というでしょう。

（問題３２）
多喜浜小学校開校１３０年と、多喜浜塩田開発３００年を記念した「夢広がる学校づくり」事業の一環として、多くの人々の協力により多喜浜小学校の校庭に平成１７年（２００年）９月に塩作り体験学習場である【　問題３２　】が建設されました。

（問題３３）
アッケシソウ(厚岸草)は、海水が出入りする湿地に生えるアカザ科の１年草です。葉は退化して「鱗片状」に変化し、草丈１５～３０ｃｍくらいに成長し、８～９月頃にひっそりと開花します。１１月頃になると鮮やかに紅変することから【　問題３３　】ともいわれています。

（問題３４）
多喜浜塩田開祖である深尾権太輔が死去し、墓碑と頌徳碑「塩田永潤徳」が建てられている寺の名称は何でしょう。

（問題３５）
塩田で、海水をかけた入替土をすき起こす際に使う道具で、入替土の乾燥を良くするため、決められた方向に丁寧にすき起こすと、写真のような芸術的な模様が描かれます。万鍬とも呼ばれ、この作業工程と同じ名前のこの道具を何というでしょう。



（問題３６）
明治１２年（１８７９年）に第百四十一国立銀行として設立された西条銀行は、明治４０年（１９０７年）に多喜浜出張所を置きました。その後、【　問題３６　】銀行との合併により、【　問題３６　】銀行多喜浜出張所になりました。この銀行の名前は何でしょう。

（問題３７・３８）
マリンパーク新居浜は、平成１８年（２００６年）に四国初の【　問題３７　】に認定され、今年で２０年を迎えました。平成３０年（２０１８年）７月には【　問題３８　】に登録されました。

（問題３９）
かぶと踊りはどこの地区に伝わっている踊りでしょう。

（問題４０）
一宮神社に祀られている狸で、慈眼寺の和尚に化けて大阪に船で渡った狸の名称を答えてください。

（問題４１）
毎年１月に大島で開催される、写真のお祭りは何というお祭りでしょう。



（問題４２）
えび天は、瀬戸内海でとれる新鮮な小エビ、小魚をすり鉢で練りこみ、何と混ぜ合わせて油で揚げたものでしょう。

（問題４３）
古くからの伝統として嫁入りをする時、「おいり」と呼ばれる米菓子を持っていく風習がありますが、おいりの別の名称は何というでしょう。

（問題４４）
江戸時代に「お籠り」と呼ばれ、その年の豊作を祈願する親睦行事が起源とされている秋の風物詩を書いてください。

（問題４５）
住友林業が保有する山林は全国に約 40,000 ヘクタールありますが、新居浜を含む四国エリアで管理している社有林はそのうち約何％でしょう。

（問題４６）
「張閉る 加勢もせずに 旅寝とは」
この句は、「寛政七年紀行」で新居浜市に立ち寄った際に俳人【　問題４６　】が詠んだ句です。

（問題４７）
川田順が詠んだ次の短歌の空欄に入る言葉を書いてください。
「地中にて はたらくことは 慣れながら 皆【　問題４７　】に 礼して這入る」

（問題４８）
幕末から明治にかけて教育者として藤田達芳をはじめ多くの郷土の人材を育てた遠藤石山が、星原の地に開いた私塾の名前は何でしょう。

（問題４９）
【　問題４９　】は、新居浜村議、町議、町長、初代市長として連続４５年間、自治行政に尽くしました。

（問題５０）
官公庁の接待館として時の国鉄総裁・十河信二や俳人・河東碧梧桐などの有名人も数多く訪れた建物の名前を書いてください。